

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	高松市健康増進温浴施設(ループしおのえ)		
指定管理者	シンコースポーツ四国・四電ビジネスグループ	施設所管課等	スポーツ振興課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市塩江町安原下第3号2074番地2	業務の概要	・施設運業務・維持管理 ・受付業務・プール監視・施設清掃・設備維持 ・自主計画業務(水泳教室・レッスン・イベント) ・プール利用料金に関する徴収等事業
施設の概要	【施設】鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地下1階地上1階 ・温水プール(20m×3コース/歩行コース1周60m/キッズプール・アクアジム) ・更衣室・浴槽他 【職員状況】 ・プール施設管理 常駐5名/設備員 非常駐2名※季節により変動あり 【開館時間】終日10:00～20:30 毎週火曜日休館		

	項目名	令和6年度	令和5年度	項目名	令和6年度	令和5年度
利用状況等	プール利用者	39087 人	46638 人	自主事業教室開催数	691 回	825 回
	営業日数	235 日	286 日	自主事業教室参加者数	4486 人	5553 人
	無料利用者数	3459 人	4544 人			
収支状況等	指定管理料	60426 千円	61852 千円	支出実績(総額)	64141 千円	73779 千円
	収入実績(総額)	69680 千円	72731 千円		千円	千円
		千円	千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	適切な施設維持管理を行うため法令に基づき資格者の維持管理計画と設備機器の保守点検を行った。日々のCPR研修、災害や危機管理に対する安全管理マニュアルを作成、個人情報保護の研修を全職員が行い危機管理体制の構築を図り安心安全な施設づくりに取り組んだ。たかまつマイロード活動を継続し行い状況に応じた節電・節水に積極的取り組み環境への配慮を行った。	B
	②-1個人情報の保護・情報公開		
	②-2環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	健康増進施設として年間通じて子供から高齢者までが参加できる様々なイベントを実施。また施設情報を積極的に発信し平等な情報提供を行った。利用者の立場に立った対応を従業員に周知を行い利用者アンケート結果では利用満足・スタッフ対応共に90%以上を獲得。	A
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	施設PRのためにSNS/HPによる情報発信を行い近隣施設、子ども園、小学校にもチラシ配布。高松市と連携を取り市報への掲載を実施。3/16感謝祭イベントでは利用者数440名と非常に多くの方が来館。昨年度に比べ約100名の増加。地元塩江地区の運動会の協賛や小学校イベントにも参加し地域連携を行った。自主事業では利用者ニーズに合った健康を目的としたレッスンや大人・子ども水泳教室を開催。還水槽修繕の為に12月～2月中旬までの長期休館対応も迅速な対応した事で苦情・トラブルなしに運用ができた。	A
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	安全管理とサービス向上を図り快適な環境提供できる人員配置を行うためのシフト、ローテーションを作成。CPR、応急処置、救助技術向上緊急時対応研修を日常的に実施。社内の合同研修(接客接遇/救助技術向上)を計画通り年2回実施することで業務の質の維持、向上、レベルの統一を図った。就業規則に基づき日常業務及び業務管理を行い有給年5回以上の取得を達成。損害保険等運営業務及び維持管理業務ともに適切な保険加入している。社内監査員による内部監査(資金管理)も実施(上半期・下半期1回ずつ)、指摘事項なく適切な管理が出来ている。	A
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保(経営状況の確認を含む)		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	類似施設と比較してすべての方が利用しやすい金額設定で運営を行った。夏季には夏休みの子供たちが利用しやすいようサマーキッズパスを設定。自主事業では利用者の方々のニーズに合った「レッスン・スクール」「物品販売」を行い継続的な利用につながるようサービス向上に取り組んだ。臨時休館の影響で収入面では予定を下回る結果となっているが休館中の水光熱費、人件費を出来る限り削減。昨年度に引き続き運営労務コンプライアンス巡回(上半期・下半期1回ずつ)実施。勤怠管理システムや経理精算システムを活用し迅速かつ適切に管理を行った。	B
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
<p>有資格者による適切な施設の維持管理、日々のCPR研修、安全管理マニュアルの作成等、利用者が安全・安心に施設を利用することができるための取組をした点は評価できる。</p> <p>子どもから大人まで幅広い年齢層を対象にしたイベントを実施したり、利用者の立場に立った対応等を行うことで、アンケートの結果90%以上の利用満足度を獲得することができた。利用者のニーズに合った多種多様のイベントに、より多くの方に参加してもらうために、SNSやHP等を活用した施設PRを行っている点は評価できる。また、施設の設備改修工事による休館が約3ヶ月あったが、指定管理者による早めの周知や対応により、滞りなく営業再開することができた。</p> <p>レッスン・スクール、物販販売などを実施することで、利用者の継続的な利用を確保に努めており、臨時休館の影響で収入が減少したが、出来る限り水光熱費や人件費の削減に取り組んでいる点は評価できる。</p>	B